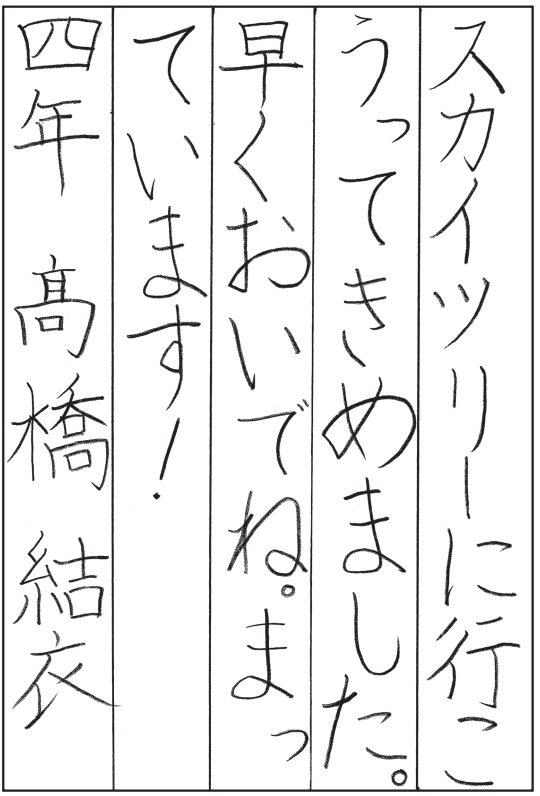
はがきでペン優秀作品

佳作以上に「書作名人筆」さしあげます

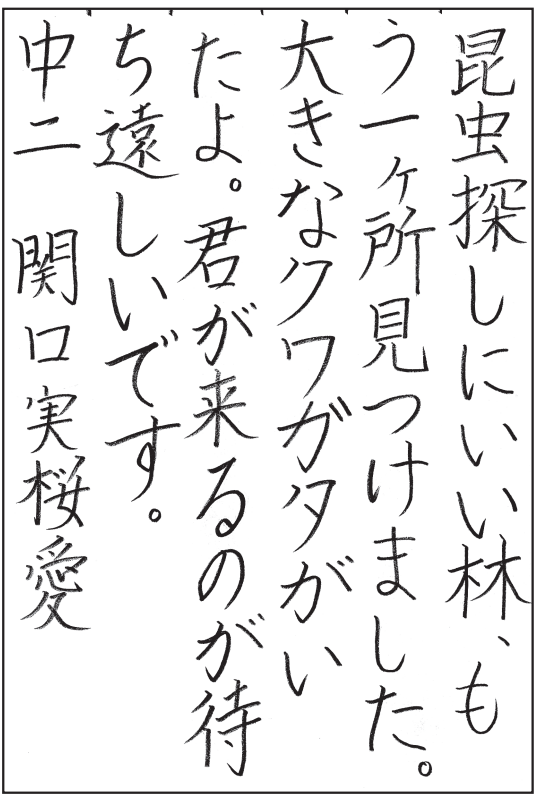
審査担当　金子榮風先生

最優秀作品２点



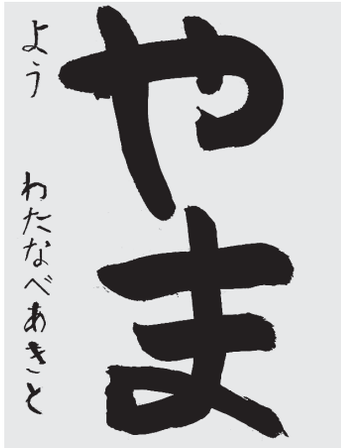
小４　高橋　結衣

はがきいっぱいに大きく、ていねいに書けた。



中２　関　口　実桜愛

力強くグングン書き進み、全ての線がきれい。



おてほんをよくみてじっくりとかきすすめたのでかたちがとてもきれいです。おなまえもていねいにかけてえらいです。

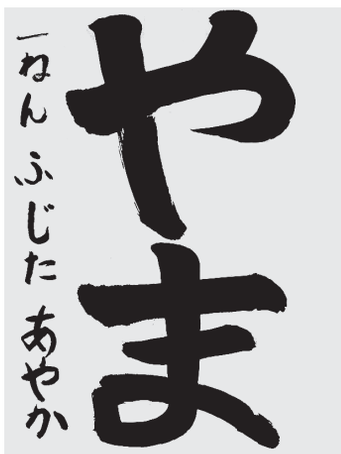
渡辺暉斗 幼年 8級

一つ一つの線が美しく整ったのでキリッとした先生になりました。筆を持つかまえと動きの大きさが良いのでこの調子で。

横江伶香 小4 2段

文字が流れていく行書作品の中で見せる直線の強さが効いている。各文字の線の長短をうまく使い分けて余白が美しい。

山口未來 中2 4段



せんがはじまるときにふでのむきが正しいのでがっしりとしたせんでかけた。うごきも大きくりっぱな「やま」になった。

藤田彩花 小1 6級

左右のハライやななめの線の角度が正しいので大きく書いてもうまくまとまった。漢字に負けないひらがなの強さが大事。

山本蒼士 小5 準3

画数の少ない文字を太く書き、全体をうまくまとめた。構え大きく、次の点画へのつながりを見せるリズムが素晴らしい。

佐藤栞 中3 4段

カタカナは直線でできているということをよくわかったうえで書けています。四文字の大きさ・バランスもすばらしい。

鈴木晴眞 小2 1級

一点一画の場所を確認しながら書いて二文字のバランスをうまく整えた。太くてゆるぎない縦の線が作品を安定させた。

宮出蓮 小6 3段

細かい所をよく見てむずかしいかだいをうまくまとめた。「お」のハライ、「話」のゴンベン、口の大きさなどがとくに良い。

石倉実來 小3 1級

「郷・祭」共に三ブロックの組み合わせでできた漢字をそれぞれの大きさ・形をよく考えて美しく書けた。名前、完璧です。

齋藤優羽 中1 準5

八月十五日締め切り
最優秀作品
金子高遠選評